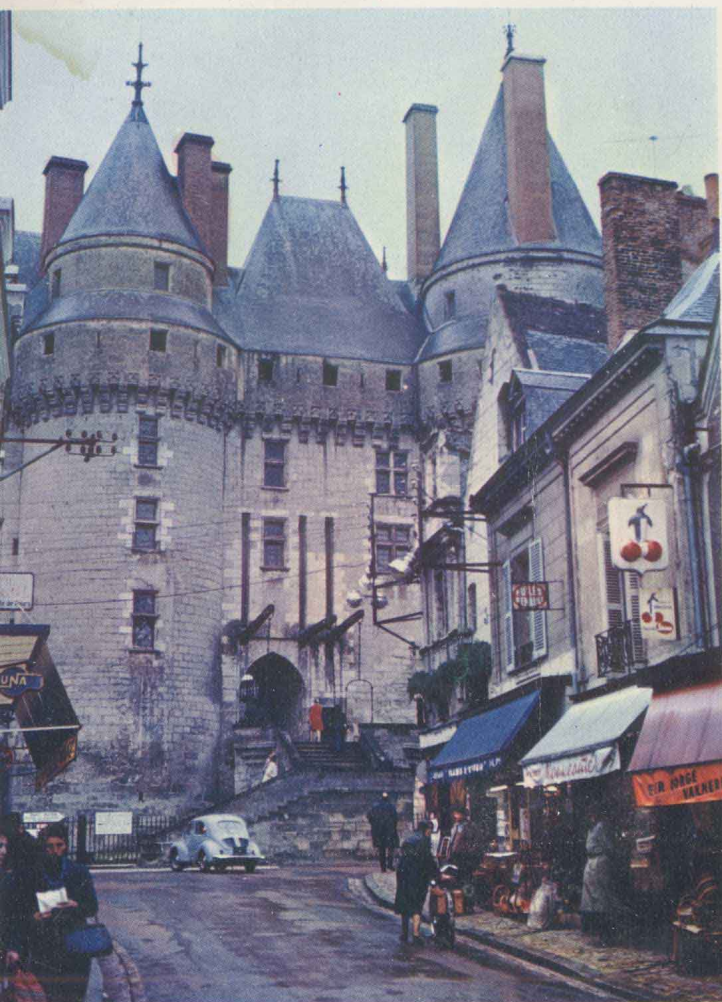




少年少女世界の名作文学／フランス編 7



■ND C 9 0 9

昭和42年

5 0 2 P

2 2 ・ 5 cm

小学館版

—— 少年少女世界の名作文学／第25巻／フランス編7 ——

■昭和42年8月20日発行

■少年少女世界の名作文学／第25巻／フランス編7

■ライオンのめがね／ばらいろ島／海の義賊／アルベール・サマン詩

■アルチュール・ランボー詩／フランシス・ジャム詩／ジャン・クリストフ

■定価／四八〇円

■編者／◎名作選定委員会

■発行者／相賀徹夫

■発行所／株式会社小学館 東京都千代田区神田一ツ橋二ノ一

■電話／東京(283)二一一一

■振替／東京二〇〇番

■印刷・製本／大日本印刷株式会社

■本文用紙／本州製紙株式会社

■表紙クロス／東洋クロス株式会社

執筆者紹介

石川 湧／明治39年、栃木県に生まれる。主な訳書に、海

底二万里、怪盗紳士

二反長 半／明治40年、大阪に生まれる。日本児童文芸家

協会会員。昭和28年小学館文学賞を受く。主な著者に、お

とぎ草紙、魔法のランプ

篠原雅之／明治42年、栃木県に生まれる。主な著書に、昆

虫記、伝記エジソン、キュリ

ー夫人

竹田靖治／明治38年、福岡県に生まれる。

大穂利武／大正15年、福岡県に生まれる。

造本には、じゅうぶん注意しておりますが、万一落丁・乱丁などの、不良品がありましたら、おとりかえいたします。

Printed in Japan

少年 世界の名作文学—25  
少女

フランス編 7

ライオンのめがね・ばらいろ島・海の義賊

ビルドラック原作

ビルドラック原作

ベルネード原作

サマン詩・ランボー詩・ジャム詩

ジャン＝クリストフ

ロマン・ロラン原作

宮崎嶺雄編



小学館

はじめに……………

宮崎嶺雄

『ライオンのめがね』はゆかいな動物の国のお話です。年をとったライオンの王さまがたいせつなめがねをなくしてしまい、いろいろな動物たちがそのめがねを探そうとするこっけいなうちに教訓を含んだ現代のインソップ物語といえるでしょう。

『ばらいろ島』はまるで子どもの天国のような楽しい島の物語です。思いがけない幸運でその島で暮らすようになった少年がその生活のなかで何を感じ、何をしようとしたかを描いています。

ヘルネードの『海の義賊』は十九世紀の初め、イギリス海軍を向こうに回してはなばなしい活躍をしたシュルクーフという実在の勇士を主人公にした物語です。

サマンとランボーとジャムは、フランスの詩人の中でもそれぞれきわだった特色をもった詩人です。サマンのものがなくやさしいリズム、ランボーのきらめくような語句とジャムのみずみずしい感覚は、それぞれ独特の魅力で人をひきつけます。

『ジャン・クリストフ』はロマン・ロランの代表作で、少年時代のベートルーベンモデルにしたといわれています。偉大な才能をもちながら、自由と正義を愛する心と貧窮のために、苦難に満ちた道を歩み続ける、ひとりの天才の全生涯を力強く描いたものです。



## うみ ぎ ぞく 海の義賊

硝煙彈雨のなか。シュルクーフとかれに続く部下五十名は、  
阿修羅のごとく荒れ狂う。波たかき、大洋のまっただなか。  
祖国の名誉と栄光のため命を惜しまぬ海の男たちの戦いだ。

164 ページをごらんください。





## ライオンのめがね

青や黒の色めがね……。アラビヤ人の古道具屋さんがもってきためがねは、どれもあいませんでした。『ああ、めがねがほしい。』ライオンの王さまは、おもわずうなってしまいました。





## ばらいろ<sup>とう</sup>島

さかまく<sup>おきなみ</sup>大波に飛行機<sup>ひこうき</sup>からつりさげられたジャンチ<sup>せんせい</sup>先生のか  
ご。『まだ生きているかしら。』身<sup>み</sup>をのりだした先生<sup>せんせい</sup>のからだ  
に今<sup>いま</sup>にも大波<sup>おきなみ</sup>が。チフェルナンは、死<sup>し</sup>んだように動<sup>うご</sup>かない。





## ジャン＝クリストフ

いきいきと<sup>いきいき</sup>かろやかに、あるいははげしくゆるやかに<sup>なご</sup>流れるソナタ。クリストフの<sup>ゆびさき</sup>指先から一音の<sup>くる</sup>狂いもなく<sup>なご</sup>流れる<sup>うつく</sup>美しい音に、聴衆は目をこらし、小さな演奏家に<sup>き</sup>聞きほれた。

357 ページをごらんください。



少年  
少女

世界の名作文学 25

フランス編 7

もくじ



はじめに..... 2

# ライオンのめがね

ビルドラック作..... 19

(一) 目がよくなる..... 21

(二) めがねをなくす..... 30

(三) アラビア人の古道具屋..... 35

(四) ぞうの冒険..... 38

(五) 犬の失敗..... 40

(六) らくだのなみだ..... 42

(七) めがねが見つかる..... 42

(八) さるの会議..... 44



# ばらいろ島<sup>とう</sup>

ビルドラック<sup>さく</sup>作

|     |            |     |
|-----|------------|-----|
| (一) | 木れんがのおうち   | 51  |
| (二) | チフェルナン     | 56  |
| (三) | 悪い日        | 62  |
| (四) | 思いがけないできごと | 69  |
| (五) | 旅行         | 77  |
| (六) | 着いたその日     | 84  |
| (七) | ばらいろ島の暮らし  | 92  |
| (八) | おうちの人たちのこと | 97  |
| (九) | 悪い知らせ      | 103 |

(十) あらし……………110

(十二) このうえないしあわせ……………116

## 海の義賊うみぎぞく

ベルネード作……………125

あらしの海の少年……………127

英雄故郷に帰る……………136

古城の怪事件……………142

シユルクーフとデュテルトル……………151

ケント号上の激戦……………156

ふたりのインド人……………166

望遠鏡にうつった船……………170

船牢クラウン号……………174

飛び出したマルコフ……………179



|                   |     |
|-------------------|-----|
| 町のなかは大騒ぎ……………     | 182 |
| 秘密探偵局長をたずねた男…………… | 188 |
| 捕虜の交換……………        | 191 |
| 二通の遺書……………        | 194 |
| マルコフ助け出し作戦……………   | 203 |
| 暗い海を泳いで……………      | 210 |
| 思いがけない客……………      | 213 |
| うまくいきそうだったが……………  | 223 |
| 刑務所を出た囚人馬車……………   | 230 |
| ピット首相の使者として……………  | 233 |
| ル・ギルドの古城……………     | 236 |
| ナポレオンとシュルクーフ…………… | 241 |
| レストランの決闘……………     | 250 |
| 生かしておくものか……………    | 256 |